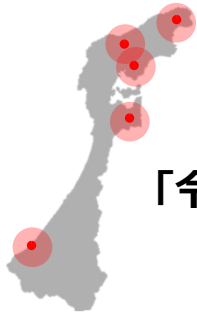


災害救護速報（長野県支部版）

令和6年3月22日

点線部は更新箇所



「令和6年能登半島地震災害」の対応等について

－ 第12報 －

令和6年1月1日（月）16時10分、石川県能登地方を震源地として発生した地震災害において、長野県支部は、被災地の石川県支部等と連携しながら、次のとおり対応しています。

（主な活動状況）

1. 救護班の活動（DMAT含む）

主な活動は、「応急医療」「助産」「巡回診療」などがあります。被災地では、災害対策本部などと連携・調整し、けがをした人の治療の他、避難所を中心とした被災者の巡回診療、現地の病院業務の支援などを行います。

活動期間	派遣元	派遣数	活動場所
1/2～1/4	長野赤十字病院	1班*	公立穴水総合病院
1/2～1/4	諏訪赤十字病院	1班*	公立穴水総合病院
1/4～1/7	飯山赤十字病院	1班	公立能登総合病院
1/5～1/7	長野赤十字病院	1班*	珠洲市総合病院
1/8～1/12	諏訪赤十字病院	1班*	輪島市保健医療福祉調整本部 等
1/9～1/12	長野赤十字病院	1班	七尾市内の避難所
1/11～1/14	諏訪赤十字病院	1班	珠洲市内の避難所
1/17～1/20	長野赤十字病院	1班*	輪島市保健医療福祉調整本部 等
1/20～1/23	川西赤十字病院	1班	珠洲市内の避難所
1/20～1/23	諏訪赤十字病院	1班*	輪島市保健医療福祉調整本部 等
1/23～1/26	諏訪赤十字病院	1班*	輪島市保健医療福祉調整本部 等
1/28～1/31	安曇野赤十字病院	1班	珠洲市内の避難所
2/1～2/4	長野赤十字病院	1班*	輪島市保健医療福祉調整本部 等

2/4～2/7	下伊那赤十字病院	1班	珠洲市内の避難所
2/21～2/24	諏訪赤十字病院	1班	珠洲市内の避難所
2/28～3/2	長野赤十字病院	1班	輪島市内の避難所
3/8～3/11	安曇野赤十字病院	1班	輪島市内の避難所
合 計		17班	

(参考) 日赤救護班とは…

医師、看護師、薬剤師及び事務職員等から構成しています。全国の赤十字病院には487班(R5.3.31付)を常備しており、うち、長野県の6つの赤十字病院は計16班を常備しています。



(参考) *DMAT 「Disaster Medical Assistance Team」とは…

大規模災害や多傷病者が発生した事故などの現場に、発生から概ね48時間以内に活動できる機動性を持った、専門的な訓練を受けた医療チームです。平成7年の「阪神・淡路大震災」を教訓に平成17年に日本DMATが発足されました。県内の赤十字病院では、長野と諏訪がDMAT指定医療機関として、赤十字の救護班と同様に派遣しています。



(長野赤十字病院)



(川西赤十字病院)

2. 日赤災害医療コーディネートチームの活動

被災地の保健医療ニーズを把握し、都道府県保健医療調整本部の災害医療コーディネーター等との協議・調整を行うと共に、救護班の活動に関して医療救護の専門的観点か

ら活動調整等を行います。

活動期間	派遣元	派遣数	活動場所
1/5～1/8	安曇野赤十字病院	1チーム	公立能登総合病院
1/26～1/29	長野赤十字病院	1チーム	石川県保健医療福祉調整本部(石川県庁)
2/7～2/12	安曇野赤十字病院	1チーム	輪島市役所
2/16～2/19	長野赤十字病院	1チーム	石川県保健医療福祉調整本部(石川県庁)
3/5～3/10	諏訪赤十字病院	1チーム	輪島市保健医療福祉調整本部
合 計		5チーム	

(参考) 日赤災害医療コーディネーターチームとは…

医師、看護師、薬剤師、事務職員等の計3人を基本構成としています。日本赤十字社は、東日本大震災における救護活動の総括を踏まえ、平成25年度から同チームの設置に取り組み、研修を通じて養成しており、長野県支部では計5チームが登録されています。



(安曇野赤十字病院)



(日赤石川県支部災害対策本部の寄せ書き)

3. こころのケア活動

被災者や支援者の健康や身近な悩みなどをお聞きすることにより、安心感を築いていく心理的な支援と、ハンドケアや足浴などのリラクゼーション、子どもの遊び場の設置、ストレス対処法の広報活動なども柔軟に考えて活動します。

活動期間	派遣元	派遣数	活動場所
1/21～1/29	諏訪赤十字病院	1名	日本赤十字社石川県支部(活動調整員)
1/26～1/29	諏訪赤十字病院	1名	日本赤十字社石川県支部(調整事務員)
2/14～2/21	長野県支部事務局	1名	七尾市及び輪島市の活動拠点本部
3/21～3/28	長野県支部事務局	1名	七尾市、輪島市及び珠洲市の活動拠点本部
合 計		4名	

(参考) こころのケア要員とは…

赤十字が実施する研修により必要な知識や技術を身に付けた職員です。こころのケア要員は看護職を中心としていますが、精神科医や臨床心理士などの専門家も協力しながら、養成に取り組んでいます。



4. 日赤災害対策本部の運営

被災地支部に設置される災害対策本部の運営として、救護班の派遣調整・受付や活動のための情報整理・発信、救援物資の配布調整など多岐にわたり救護活動を支えます。

活動期間	派遣元	派遣数	活動場所
1/18～1/22	長野県支部事務局	2名	日本赤十字社石川県支部
2/14～2/20	長野県支部事務局	1名	日本赤十字社石川県支部
合 計		3名	

(参考) 災害対策本部要員とは…

災害対策本部要員は、赤十字が設置する災害対策本部において、本部長を中心に災害医療コーディネイトチームと協力しながら、本部運営にあたります。また、災害対応はもとより、被災地支部の通常業務に支障が出ないように、支援することにも特徴があります。



日赤石川県支部災害対策本部において全国から参集する赤十字救護班の受付・管理等を担当する支部職員

5. 被災地医療機関の支援

被災地の医療機関では、通常の外來診療を中止せざるを得ないなど、医療の提供に深刻な影響が及んでいます。赤十字は、地域医療を守るため、穴水町、輪島市、能登町の医療機関に看護師を派遣しています。

活動期間	派遣元	派遣数	活動場所
1/17～1/22	安曇野赤十字病院	1名	市立輪島病院
1/22～1/27	安曇野赤十字病院	1名	市立輪島病院
2/1～2/6	諏訪赤十字病院	1名	市立輪島病院
2/1～2/6	飯山赤十字病院	1名	市立輪島病院

2/6～2/11	飯山赤十字病院	1名	市立輪島病院
2/6～2/11	下伊那赤十字病院	1名	市立輪島病院
2/16～2/21	安曇野赤十字病院	1名	市立輪島病院
3/13～3/18	長野赤十字病院	1名	市立輪島病院
3/17～3/22	長野赤十字病院	1名	市立輪島病院
3/17～3/22	下伊那赤十字病院	1名	市立輪島病院
合 計		10名	

6. 避難所運営の支援

内閣府が主導する「避難生活支援・防災人材育成エコシステム」の構築に向けて、避難生活アドバイザーとして、避難所における避難生活を支援します。

活動期間	派遣元	派遣数	活動場所
2/21～2/27	長野県支部事務局	1名	七尾市 他

7. 救援物資の搬送・配分

長野県内の備蓄倉庫から、石川県穴水町に設置された避難所に毛布をお届けしました。赤十字の救援物資は、全国の各支部に備蓄していますが、大規模災害では、都道府県を問わず相互に配分します。

(1) 搬送

活動期間	派遣元	派遣数	活動場所
1/4	長野県支部事務局	2名	穴水町役場

(2) 配分

配布日	配分先	物資名	数量
1/4	穴水町役場	毛布	1,750枚

(参考) 赤十字の救援物資とは…

災害時等の被災者に配分するため、全国に毛布（約34万）、緊急セット（約11万個）、安眠セット（約6万セット）等を備蓄しています。長野県支部は、いち早く被災者にお届けするため、広大な面積を考慮し、県内23か所に分散備蓄しています。



(長野県支部から提供した救援物資を穴水町役場へ搬入)

8. 災害救護車両の貸出

石川県は積雪が多いことから、スタットレスタイヤ等を備えた車両が必要となるため、全国から参集する救護員が使用できるよう、長野県支部の救護車両を石川県支部に貸し出しています。

活動期間	派遣元	派遣数	活動場所
1 / 5	長野県支部事務局	2名	日本赤十字社石川県支部

9. 県内の赤十字ボランティアの活動

活動日	活動奉仕団等	人数	活動内容
1 / 4	長野県赤十字救護隊	9名	松本倉庫における救援物資の搬出・積込

10. 義援金の受付

- 義援金名 [令和6年能登半島地震災害義援金](#) 又は → → →
- 受付期間 令和6年1月4日（木）～令和6年12月27日（金）



お寄せいただきました義援金は、被災地の方々の生活を支援するため、被災県が設置する義援金配分委員会へ全額をお送りします。

11. その他

(1) 日本赤十字社（全体）

[令和6年能登半島地震にかかる日本赤十字社の対応等について](#) 又は →
 （日本赤十字社 救護速報 第37報（3月19日付））



(2) 長野県内の赤十字病院

各ホームページへのリンク

[長野](#)



[諏訪](#)



[安曇野](#)



[飯山](#)



[下伊那](#)



[川西](#)

